

税金と私たちの暮らし

十文字中学校 千葉 悠那（ちば ゆうな）

私の学校には、今年からエアコンが設置された。毎年暑い夏に、私たちは汗を流し、溶けそうになりながら授業を受けていたが、涼しい部で快適に勉強することができている。そのおかげで成績も上がりそうだ。しかし、エアコンの設置や運転にかかる費用はどこから出ているのだろうか。先生に聞いてみると税金によってエアコンの使用ができるようだ。そこで私は税金に興味を持ったため、調べてみることにした。

税金はなぜ必要なのか。国や地方公共団体は、私たちが健康で豊かな暮らしができるように、民間企業を補い、民間企業では供給されにくい施設やサービスの提供など、さまざまな活動を行っている。その活動のための費用をまかっているのが私たちの税金だ。私たちの生活にかかわる税金は、上下水道の整備、道路や信号をつくるとき、学校など教育施設の建設や、机・椅子、教科書、大会が行われる陸上競技場や、野球場の施設づくりなどの身近な場面で税金が役立てられているということが分かった。

私は十文字中学校の陸上競技部に所属している。学校から競技場まではとても近いので、練習があるときはいつも利用している。毎日競技場が使えているのは、みんなが納めた税金によって修理をして、整備をしてくれる人がいるからなんだと分かりました。私たちは競技場に入るときは「お願いします。」出るときは「ありがとうございます。」と必ず言うようにしている。税金について考えることで管理人さんや、「税金を納めてくれる人への感謝の気持ちが大切だと改めて感じた。今までは当たり前だと思っていた、毎日競技場を利用することができるといふ恵まれた環境にいることに感謝し、競技場の物も大切に使用していこうと思った。

私が大人になったら、様々な税金を払うことになる。私たちがより良い生活を送るために、国民全員が税金と関わっている。その税金が誰かの医療費になったり、誰かが利用する公共の施設になったり、私たちの生活や安全を守るための費用となる。このように税金は巡り巡って誰かのために使われることで、人々は助け合うことができるのだと思った。

今まで私は税金というのは今の自分にとって遠いものだと思っていた。しかし、税金について考えてみると商品を買ったときにレシートを見ると消費税と書かれていて、自分も税金にしっかり関わっていたんだと思った。税金を払っている国民の一員として公共の物は大切に扱っていこうと思った。